

# あなたがたに平和があるように



司祭担当 道後教会 川上 栄

## のぞみ



### カトリック 道後教会だより

今年の1月7日フランス

の新聞社が襲撃され、多くの人が亡くなりました。それによって、イスラム教に対する反感がヨーロッパで高まっています。その一方、中東では「イスラム国」というイスラム教の過激派が勢力を拡大しています。その「イスラム国」に日本人二人が殺され、日本

## 4月5日(日)

## 道後教会で復活祭ミサ

もこの世界情勢に関わらざるを得なくなっています。世界でテロや争いが続く一方で、「平和」をもたらそうとする試みも世界で行われています。けれども、そういった試みは国家間の駆け引きに大きく左右されるので、中々うまくいかないのが現状です。

イスラム国やパレスチナでの争いを見て、「神を信じて平和を説く宗教がなぜ争いを起こすのか」と感じる人もいることでしょう。けれども、宗教が戦争を引き起こすのは、自分が信じる宗教を絶対とし、他の宗教を否定することから生じるの

であって、宗教そのものが悪いのではないのです。

キリスト教はイエス・キリストが十字架で死んで復活されたことによって、この世界に「平和」をもたらしたことを信じます。イエスは神の子であつたのに、十字架の死を受け入れたのは、争いの連鎖を止め、「平和」をもたらすためでした。それを示しているのは、イエスが復活した後弟子たちに現れた時に「あなたがたに平和があるように」(ヨハネ福音書20章19節)と言ったことです。



復活祭ミサ

聖書には、イエスの弟子たちがイエスの逮捕の時、イエスを見捨てたことを記しています。それはイエスにとって辛いことでした。そして、弟子たちにとっても同様でした。けれども、イエスは弟子たちに「平和があるように」と言ったことで、イエスは弟子たちを赦したのです。人を赦すのは簡単にできることではありません。わたしたちは誰しも他人から傷つけられたら、その心の傷はなかなか消えません。本当の赦しを与えられるのは神しかないとキリスト

教は信じます。なぜなら、神だけがイエスの十字架の死と復活によって本当の赦しである「平和」を与えてくださるからです。このイエスの死と復活の記念を行うのが、毎週日曜日に行われる「ミサ」です。

特に「イースター」と呼ばれる季節は、イエスの死と復活を記念するキリスト教では最も大切な時です。イエス・キリストの死と復活が世界に平和をもたらすことをキリスト教の信者は信じ、ミサに集まり、祈りを捧げます。キリスト教の信者でなくとも、ミサには自由に参加できます。どうか、4月5日(日)のミサにお越しになってください。道後教会の信徒一同、皆さんのお越しをお待ちしています。

### 〈道後教会からのお知らせ〉

#### キリスト教について 勉強してみませんか

- ◆キリスト教入門講座◆
- 毎月 第2・第4土曜日
- 午前10時〜11時

他に、日曜日・平日の都合のよい時間にも開きますので、ご相談ください。

- ・場所 道後教会
- ・講師 道後教会担当司祭 及び 信徒
- ・対象 洗礼を受けていない方
- ・まずは、当教会へ(電話かFAX)お問い合わせください。
- 電話番号など下欄参照。

#### ◆ミサ時間◆

- ・日曜日 午前11時〜
- ・金曜日 午前10時〜
- (金曜日は、司祭の都合により中止の時あり)

#### ◆土曜談話室(悩み相談)◆

- ・第1・第3土曜日
- 午前10時〜12時
- ・カウンセラーには守秘義務があります。

〈復活祭ミサ案内〉  
4月5日(日) 11:00  
道後教会 聖堂

# 東日本大震災 忘れません 被災者の苦しみ

「忘れません。東日本大震災で被災し苦しんでいる人々を—」。カトリック道後教会では、3月11日で4年を迎え、いまだ復興もままならず、亡くなった親族への思いに心が傷つき悩み、仮設住宅で不便な生活に耐え、原発事故の放射線におののく人々が多々いる現状を忘れることなく支



仮設住宅 (福島)

援を続けている。今後ともさらに継続することを決めた。被災地では今なお行方不明者の手がかりを求め、海岸や川沿い沿岸部で捜索が続いている。今年1月9日現在

## 3月8日(日) 追悼ミサ・ミニコンサート 道後教会



でまだ2590人もの人が不明のまま。園児だった娘を津波に奪われた女性は『守ってあげられなくて、ごめんね』と今も写真の前でわび続けている。

被災者支えたい  
キャンドルサービスも



キャンドルサービス (昨年)

道後教会では3月8日(日)午前11時から被災者の追悼と復興を祈るミサとミニコンサートを開く。ミサでは亡くなられた人々の永遠の安息と残された人々の心の安らぎ、

〈3月8日(日)のご案内〉  
◆ 追悼・復興祈願ミサ 11時〜  
◆ ミニコンサート 12時〜12時半

また被災地域の復興を共に祈り、出席者全員でキャンドルサービスを行う。ミサ後のミニコンサートでは、道後教会を練習会場にしている合唱団・カンターレ・カリタス松山が、被災地に思いを寄せて歌う。

会場の聖堂には被災者支援の募金箱が設置されますので、ご協力をお願いいたします。



### 愛媛のミカン「ありがとう」 仮設住宅の人々

「愛媛のおいしいミカンありがとう。温いご支援は忘れません」。仮設住宅の人々から喜びの御礼の便りが届いている。

道後教会ではバザーの収益金や様々な募金で東北の被災者へ必要な基金や物資を送っている。今年度の支援内容は次のとおり。



「ありがとう」(福島)



生け花教室 (宮城・仮設住宅)



道後教会から

- ◆ 福島県のボランティア団体『白河みみずくの会』へ7万円、ミカン4箱、手づくりマドレーヌ160個。
- ◆ 宮城県『八木山オリブの会』へミカン2箱。支援している巨理町の仮設住宅は3月末で閉鎖される。

◆ 岩手県の大船渡ベース「カリタス」

へ10万円。映画会、子供の遊び場、たこ焼きパーティーなど交流の場作り、仮設の買い物送迎サービスなど多様な支援を行っている。

◆ 福島県白河市に開設された被災で傷ついた人々が集い自立を目指す癒しの館『知足庵』へ2万円。

仮設住宅では「ミカンを食べながら歌ったりおしゃべりしたりしています」とミカンが大人気。クリスマスにはシクラメンの花も配られた。

ほかに、地域復興支援のため石巻市の老舗醸造業者の商品販売にも協力している。